

大学連携事業 活動報告シート

事業名	平成29年度愛知淑徳大学連携講座 源氏物語はなぜ書かれたか 紫式部の人生と関わらせて読む
期間	平成30年3月10日、17日（毎週土曜日、全2回） 午後2時から午後3時30分まで
連携大学	愛知淑徳大学 （参加人数）30人
大学窓口	エクステンションセンター
市担当課	生涯学習課
事業内容	長久手市と愛知淑徳大学との連携に関する協定書に基づく、地域の生涯学習を推進するための講座 1回目：源氏物語はなぜ書かれたのでしょうか。第一回目は『紫式部日記』などを取り上げ、彼女を取り巻く人物関係や時代背景を丁寧に説明し、その理由を探りました。 2回目：源氏物語には多くの人物が登場します。中でも人妻の空蝉は、紫式部自身の面影があると言われています。2回目は空蝉の物語を取り上げ、紫式部の人生と重なる部分を学習しました。



講座の様子



1回目：日記等から紫式部について知る。



講師の亀田夕佳氏



2回目：空蝉の物語を取り上げる。